

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルCDラジオ		★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RCR-310N	品番	07-8211	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)		
お客様	ふりがな ★お名前 様					
	★ご住所 〒 ー					
電話 ()						
修理メモ						
販売店	★住所 店名 電話					
	(印)					

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8211A

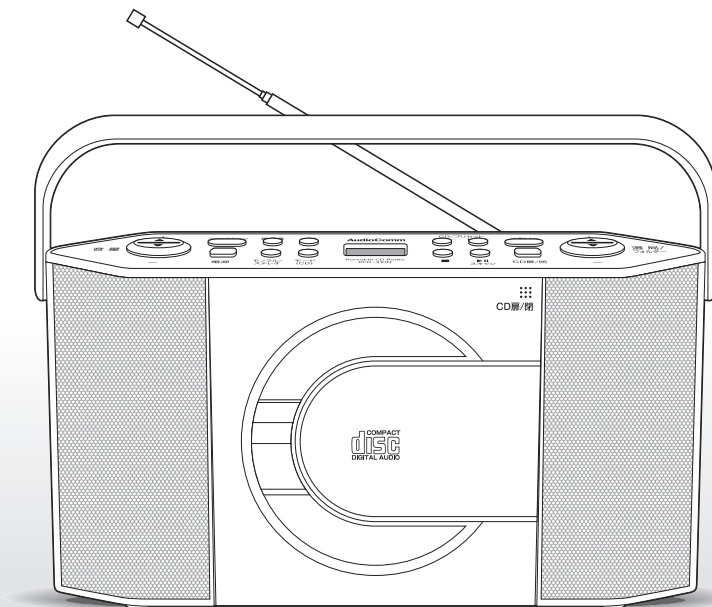
AudioComm®

取扱説明書

保証書付

ポータブルCDラジオ

型番：RCR-310N 品番：07-8211



このたびは、AudioComm® ポータブルCDラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本機の性能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項	1	ラジオを聴く	11~12
安全上のご注意	1~3	ヘッドホンで聴くときは	12
ご使用になる前に (CD について)	3~4	お手入れのしかた	13
電源について	4~5	故障かなと思ったら	13
各部の名称	6	主な仕様	14
電源のオン・オフについて	6	保証書とアフターサービスについて	14
重低音ボタンについて	7	保証書	裏表紙
CD を聴く	7~10		

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について


この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。


危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。


警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

 △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)





 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)

 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。
 コンセントから抜く	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電の原因となります。
 接続場所を選ぶ	電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 分解禁止	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 電池に注意	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が取って飲み込むことがないようにする ●万一、お様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
 禁止	本製品を家庭用電源で使う場合は必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない ●付属の電源コードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。	 禁止	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
		 水かけ禁止	浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電の危険があります。

注意

 禁止	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意			
	ほごりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない ●レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。 
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。		持ち運ぶときは、アンテナをたたむ ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。
	電源を切る前には音量を最小にする ●次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。		アンテナをたたむ
音量は小さく			移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードに引っかかって転倒したり、機器を破損するおそれがあります。
	ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。		コンセントから抜く
音量に注意			お子様がCD扉内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。
	乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		指を挟まれないように注意
乾電池の極性に注意			コンセントから抜く
	指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		禁止
禁止			コンセントから抜く
	お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。		禁止
コンセントから抜く			電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほごりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほごりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。		掃除をする
禁止			

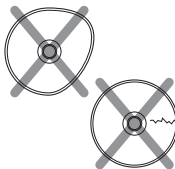
ご使用になる前に(CDについて)

結露について



寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク使用上の注意点

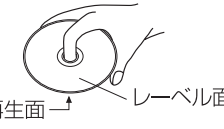

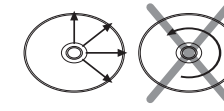
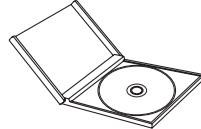
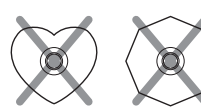
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。



再生可能なCDについて

- ◆ディスクに右のマークが入ったものをご使用ください。
 
- ◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。
 
- ◆本機はCD-R/CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご確認ください。
 - ・CD-R/CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
 - ・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
 - ・本機ではMP3形式の音楽ファイルを再生できません。それ以外の形式で圧縮された音楽ファイルの再生はできません。
 - ・DRM(著作権保護)付ファイルは再生できません。

ディスク取扱上の注意点

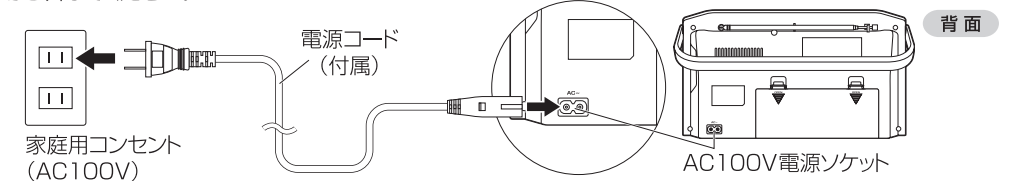
- ◆再生面に触れないように持ってください。
 
- ◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
 
- ◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。
 
- ◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。
 
- ◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。
 

電源について

- 電源コードを抜き差ししたり、電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。
- 電源を切る前に音量を最小にしてください。次に電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力に悪い影響を与えることがあります。

家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。本機を使用しないときは電源コードをコンセントから外してください。



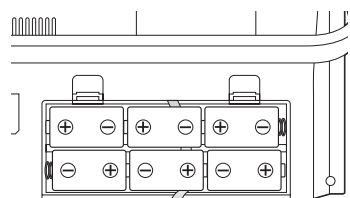
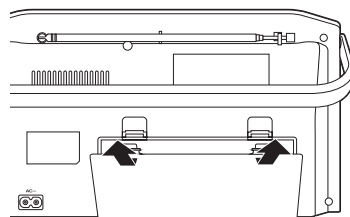
- 【重要】●付属の電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
- 電源コードをスイッチ付きコンセントタップなどに接続した場合、次にご注意ください。本機の電源が入ったままスイッチ付きタップ側で電源をオフにすると、再度タップ側でオンにしても本機の電源は自動的に入りません。その場合は改めて本機の電源をオンにしてください。

電源について(つづき)

乾電池で使う場合

- アルカリ乾電池のご使用をお勧めします。
- 長時間使用するときは、付属の電源コードをご使用ください。

- 1** 背面にある電池カバーのツメを外して、電池カバーを開けます。
ツメを外したらカバーを上側に引き抜くようにしてください。
- 2** 単2形乾電池6本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら図の通りに正しく入れます。
コイルバネのあるほうが⊖です。⊖側から先に装着してください。
リボンの上から乾電池を入れると、着脱がしやすくなります。
- 3** 入れ終わったら電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。



リボン 背面
単2形乾電池6本使用(別売)

乾電池を安全にお使いいただくために



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない



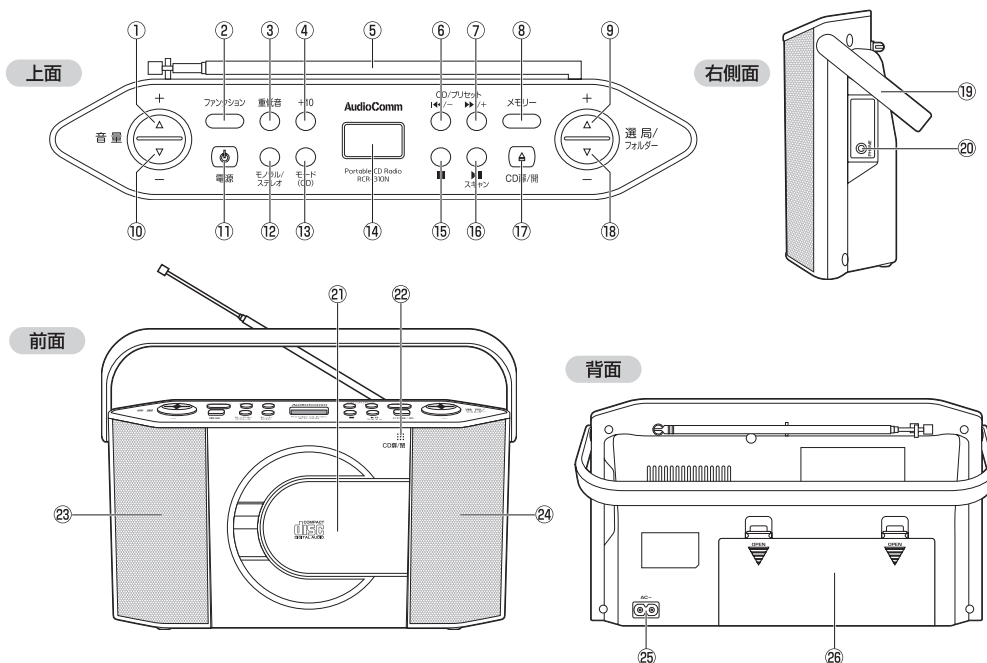
注意

- ・⊕⊖の表示通りに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称



- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 音量ボタン(+) | ⑭ ディスプレイ |
| ② ファンクションボタン | ⑮ 停止ボタン |
| ③ 重低音ボタン | ⑯ 再生/一時停止/スキャンボタン |
| ④ +10ボタン | ⑰ CD扉/開ボタン |
| ⑤ FMロッドアンテナ | ⑱ 選局/フォルダー(-)ボタン |
| ⑥ スキップ(⏮)/プリセット(-)ボタン | ⑲ キャリーハンドル |
| ⑦ スキップ(⏭)/プリセット(+)ボタン | ⑳ ヘッドホン端子 |
| ⑧ メモリーボタン | ㉑ CD扉 |
| ⑨ 選局/フォルダー(+)ボタン | ㉒ CD扉/閉部 |
| ⑩ 音量ボタン(-) | ㉓ 左スピーカ |
| ⑪ 電源ボタン | ㉔ 右スピーカ |
| ⑫ モノラル/ステレオ切替ボタン | ㉕ AC100V電源ソケット |
| ⑬ 再生モードボタン(CD) | ㉖ 電池カバー |

電源のオン・オフについて



電源

電源コードを正しく接続するか、乾電池を正しく装着し、電源ボタンを押すと電源が入ります。電源を切るには、もう一度電源ボタンを押します。

重低音ボタンについて

重低音



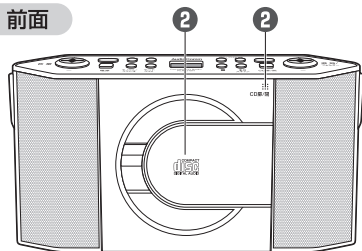
ラジオやCDを聴いているとき、重低音ボタンを押すと、低音が強調された音になります(ディスプレイにDBBSが表示されます)。もう一度押すと元に戻ります。



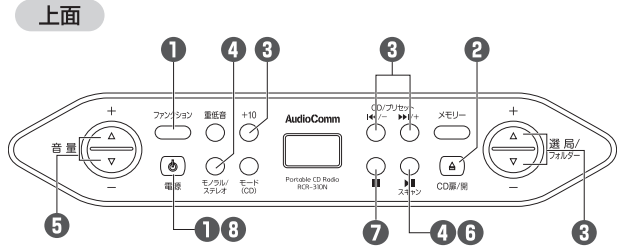
CDを聴く

市販されている音楽を収録したCD(音楽CD)とMP3形式のファイルを収録したCD-R / RW(本書では「MP3 CD」と呼びます)では、ディスプレイ表示や操作、動作が一部異なります。この取扱説明書では、基本的に音楽CDでの操作を説明し、必要に応じてMP3再生時の補足も行なっていきます。

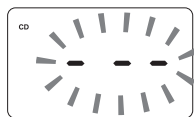
前面



上面



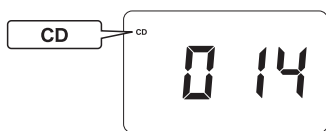
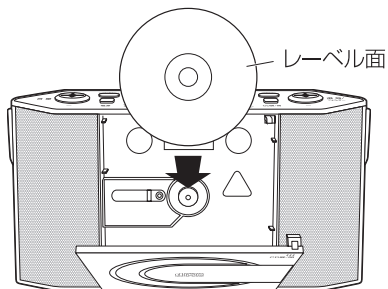
- 電源ボタンを押して電源を入れたあと、ファンクションボタンを数回押してCDを選びます。ファンクションボタンを押すたびに、FM→AM→CDの順で切り換わります。



ディスクの読み取りが始まり、ディスプレイに「----」がしばらく点滅します。ディスクが入っていない場合は、「no」と表示されます。

- CD扉／開ボタンを押してCD扉を開けます。レーベル面(印刷されている面)を手前にしてディスクを正しくセットし、CD扉／閉部を押して閉めます。

- CD扉を閉めるときは、カチッと音がするまでCD扉／閉部を押し込んでください。
- CD扉を閉めるとディスクが回転し、収録されている曲数がディスプレイに表示されます。
- CDの最初から再生する場合はそのままステップ4に進んでください。

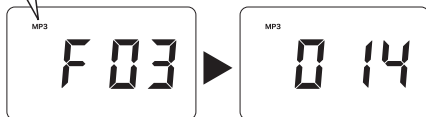


収録曲数表示例

MP3 CDでは

読み取りが完了すると、フォルダー数表示の後、収録曲数が表示されます。

MP3



フォルダー数表示例

収録曲数表示例

- 再生したい曲を選ぶ場合は、ディスプレイの表示を確認しながらスキップ(◀◀)／プリセット(-)ボタンまたはスキップ(▶▶)／プリセット(+)ボタンを数回押して、曲の番号を選びます。



- 曲を選ぶときに+10ボタンを押すと、10曲先の曲番号にジャンプします。

MP3 CDでは

選局／フォルダー(+)ボタンまたは選局／フォルダー(-)ボタンを押すことで前後のフォルダーにジャンプします。

- 選局／フォルダー(+)ボタン: 次のフォルダーの最初の曲にジャンプします。
- 選局／フォルダー(-)ボタン: 一つ前のフォルダーの最初の曲にジャンプします。

※どちらの場合も、ジャンプ後に表示されるフォルダーの最初の曲は、フォルダー番号のみで曲番号は表示されません。その後、スキップ(◀◀)／プリセット(-)ボタンまたはスキップ(▶▶)／プリセット(+)ボタンを押すと、曲番号表示により前後の曲を表示します。

※曲番号はフォルダー番号に関係なく通し番号で表示されます。

- 再生／一時停止／スキャンボタンを押します
=再生開始

- 再生中はディスプレイに経過時間と再生マーク(▶)が表示されます。

- 再生中にモノラル／ステレオ切換ボタンを押すと、経過時間表示と曲番号表示を切り換えることができます。



経過時間表示



曲番号表示

MP3 CDでは

再生開始時に、曲番号→フォルダー番号→経過時間の順で表示されます。



- 音量ボタン(+ / -)で音量を調節します。音量を大きくしすぎないようにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。



- 再生を一時停止するときは、再生／一時停止／スキャンボタンを押します。

- 一時停止中はディスプレイ表示(経過時間と再生マーク)が点滅します。

- もう一度押すと再生を再開します。



- 再生を停止するときは停止ボタンを押します。ディスプレイは収録曲数表示に戻ります。





- 終了するときは電源ボタンを押します。

使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCD扉を必ず閉めてください。

CDを聴く(つづき)

スキップ(◀◀)／プリセット(-)ボタンとスキップ(▶▶)／プリセット(+)ボタンについて

停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態に応じて機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
◀◀/- 	一つ前の曲を選択	ひとつ前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離れた時点から再生を再開します。
▶▶/+ 	次の曲を選択	次の曲に移動して再生します。	聴いている曲が早送りされます。指を離れた時点から再生を再開します。

※再生中に長押しすると、断片的に再生音が流れますので、お好みのところで指を離してください。

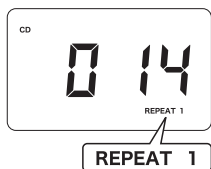
再生モードボタン(CD)を使った様々な再生のしかた



再生モードボタン(CD)を押すと様々な再生方法を選ぶことができます(押すたびに再生方法が変わります)。停止中や一時停止中に再生方法を設定した場合は、再生／一時停止／スキャンボタンを押して再生を開始してください。

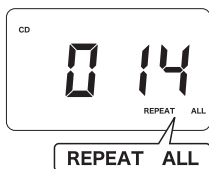
1曲リピート

再生中の曲や選んだ曲を繰り返し再生します。



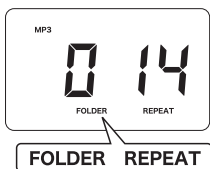
全曲リピート

CD内の全曲を繰り返し再生します。



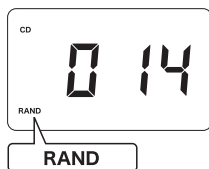
フォルダーリピート

フォルダー内の全曲を繰り返し再生します。



ランダム再生

CD内の全曲をランダムに再生します。



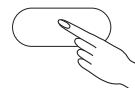
通常再生

- フォルダーリピートはMP3 CDのみ表示されます。フォルダー階層がないMP3 CDの場合は、全曲リピートと同義となります。
- リピート再生やランダム再生を解除するには、「REPEAT 1」や「REPEAT ALL」などの表示が消えるまで、再生モードボタン(CD)を数回押してください。
- 停止ボタンを2回続けて押したときや、停止後にCD扉を開けたとき、他のファンクションに移行したときも解除されます。

プログラム再生(CDの曲順を並びかえて聴く)

メモリー

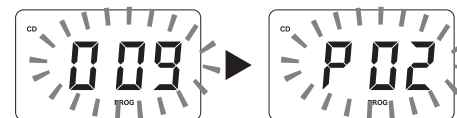
音楽CDの場合は最大20曲、MP3 CDの場合は最大99曲までプログラム登録できます。プログラムを登録するには、再生停止状態で操作してください。



- 再生停止中にメモリーボタンを押します。「PROG」が表示され、「P01」(曲順番号)が点滅します。



- スキップ(◀◀)／プリセット(-)ボタンまたはスキップ(▶▶)／プリセット(+)ボタンを数回押して1曲目に登録したい曲番号を選び、メモリーボタンを押します。

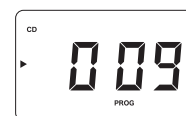


- メモリーボタンを押すと、ディスプレイ表示が「P02」(点滅)となり、2番目に登録したい曲を選べる状態になります。
- 曲を選ぶときに+10ボタンを押すと、10曲先の曲番号にジャンプします。
- MP3 CDの場合は、選局／フォルダー(+)ボタンまたは選局／フォルダー(-)ボタンを押すことで前後のフォルダーにジャンプし、効率的に曲選びを行なうことができます(P.8参照)。



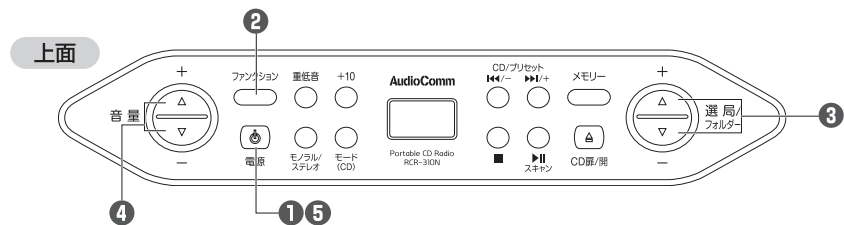
- ステップ2の操作を繰り返して、聴きたい曲を順に登録します。

- 再生／一時停止／スキャンボタンを押します
=プログラム再生開始
プログラム再生中は、「PROG」が表示されます。



- 登録可能な最大曲数まで達し、そのまま登録操作を続けると、曲順番号が「P01」に戻ります。
- 曲順を途中で修正することはできません。停止ボタンを押して登録内容を削除し、最初からやり直してください。
- プログラム再生中に停止ボタンを1回押すと、プログラムを保持したまま再生を停止します(「PROG」はそのまま表示された状態)。
 - ・この状態で再生／一時停止／スキャンボタンを押すと、プログラムの1曲目から再生を始めます。
 - ・プログラムの設定自体を解除するには、停止ボタンを2回続けて押してください(「PROG」表示が消え、収録曲数表示になります)。
 - ・CD扉を開けたときや、他のファンクションに移行した場合も解除されます。
- 全曲リピート再生とプログラム再生を併用すると、登録した曲を繰り返し聴くことができます。

ラジオを聴く



1 電源ボタンを押して電源を入れます。

2 ファンクションボタンを数回押して、お聴きになりたいバンド（AMまたはFM）を選びます。



FM放送の表示例



AM放送の表示例

3 選局／フォルダー(+)ボタン、または選局／フォルダー(-)ボタンを使って、お聴きになりたい放送局を受信します。

短く押す

FM放送では0.1MHzごとに、AM放送では9kHzごとに周波数が送られます。

約2秒間長押ししてから指を離す

周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

4 音量ボタン(+/-)で音量を調節します。音量を大きくしすぎないようにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

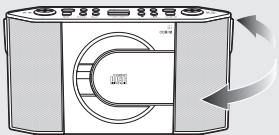


5 終了するときは電源ボタンを押します。

受信状態をよくするには

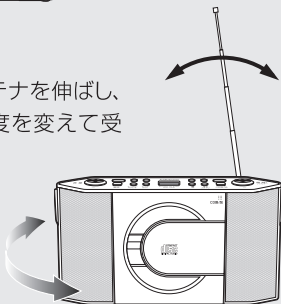
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送の受信

FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。



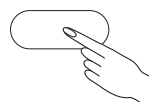
●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

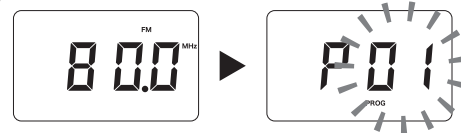
●モノラル／ステレオ切換ボタンを押すと、ステレオ出力とモノラル出力を切り換えることができます。ノイズが気になる場合などは、モノラル出力にすることで軽減できることがあります。

お気に入りの放送局を選んでメモリー登録するには(手動メモリー登録)

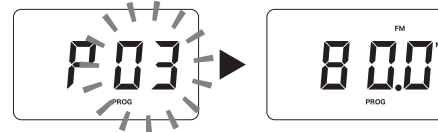
メモリー



1 登録したい放送局を受信している状態で、メモリーボタンを押します。



2 プリセット番号を確認し、もう一度メモリーボタンを押します=登録完了
表示されているプリセット番号を変更したいときは、スキップ(◀◀)／プリセット(+)ボタン、またはスキップ(▶▶)／プリセット(-)ボタンを押して任意の番号を選んだ後、メモリーボタンを押してください。



メモリー登録での受信時は周波数の下に「PROG」が表示されます。

受信可能な放送局を一括してメモリー登録するには(一括メモリー登録)



再生／一時停止／スキャンボタンを約2秒間長押ししてから指を離すと、周波数を自動で送りながら受信可能な放送局を一括してメモリー登録することができます(AM放送は最大10局、FM放送は最大30局まで登録可能です)。

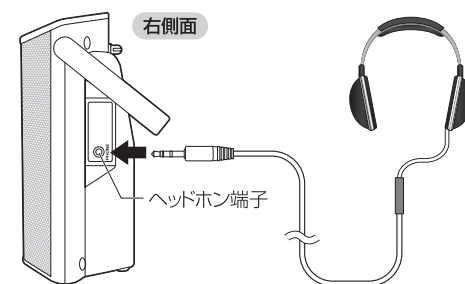
- メモリー登録した放送局を聴くときは、スキップ(◀◀)／プリセット(+)ボタン、またはスキップ(▶▶)／プリセット(-)ボタンを押して、プリセット番号を選んでください。
- 電波の状態により、一括メモリー登録が思った通りに行なわれない場合は、手動メモリーにて登録してください。
- 一括メモリー登録または手動メモリー登録を行なうと、すでに登録してある番号のプリセット内容(放送局の周波数)は上書きされますのでご注意ください。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

ヘッドホンで聴くときは

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用電源でご使用时、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。



お手入れのしかた

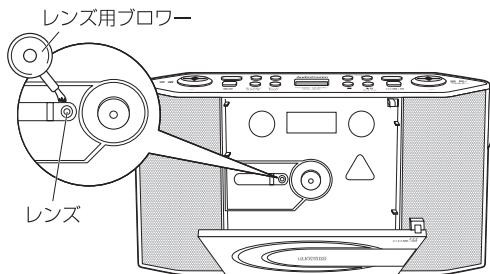
※お手入れの際は、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行ってください。

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CD扉を開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

●市販のクリーニングキットのレンズ用ブローを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。

●万一指紋などが付いている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



キャビネットの清掃

●本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

●シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

故障かなと思ったら

	症状	チェック項目
共通部	電源が入らない	○電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか。 ○乾電池は正しく入っていますか。 ○乾電池が消耗していませんか。
	音が出ない	○音量が最小になっていませんか。 ○ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
CD部	CDの再生が始まらない	○CDが裏返しに入っていないですか。 ○CDがひどく汚れていませんか。 ○規格外のディスクが入っていませんか。 ○MP3以外の圧縮ファイル形式ではありませんか。 ○レンズがひどく汚れていませんか。 ○CD扉がしっかりと閉まっていますか。 ○別のファンクションになっていませんか。
	CDの音が出ない	○一時停止状態になっていませんか。
	CDの音が飛び	○結露状態になっていませんか。 ○レンズがひどく汚れていませんか。 ○強い振動を与えていませんか。 ○CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。
ラジオ部	ラジオに雑音が入る	○近くで携帯電話を使用していないですか。 ○テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

主な仕様

電源	AC100V～ 50/60Hz DC9V (単2形乾電池×6本 別売)
消費電力	15W
最大出力	1W×2
スピーカー	口径64mmスピーカー (8Ω)×2
ラジオ受信周波数	AM 522～1629kHz (内蔵フェライトバーアンテナ)
	FM 76.0～108.0MHz (ロッドアンテナ)
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニプラグ
CD・ファイル形式	CD-DA、CD-R、CD-RW MP3再生対応 (ビットレート：32～320kbps) 99フォルダー / 999ファイル (最大8階層)
乾電池での連続使用時間の目安	CD時：約27時間
	ラジオ時：約75時間
外形寸法	幅295×高さ160×奥行70mm (突起物含まず)
質量	約2kg (乾電池含まず)
付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書

※乾電池での連続使用時間の目安は、アルカリ乾電池使用(音量：中程度)の場合の目安です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。

※本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※取扱説明書のイラストが製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。